

## ベトナム ICDV2013 を終えて

2013年11月12日～18日 in ベトナム ホーチミン市  
高井研究室 M1 田中駿祐

今回、海外に行くのは初めての経験だったので多くのことを感じ学ぶことができました。

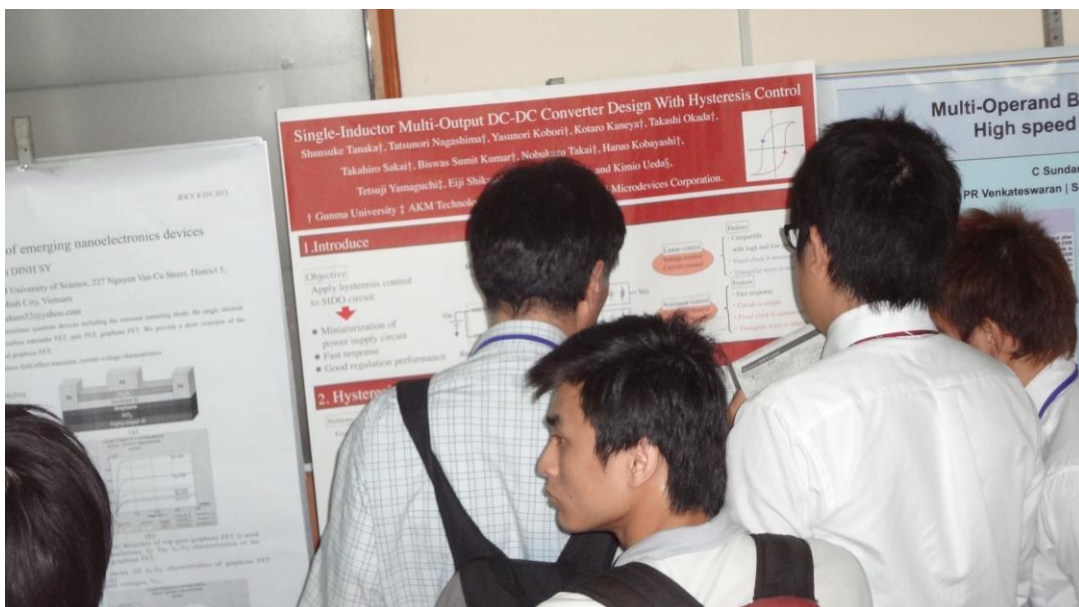
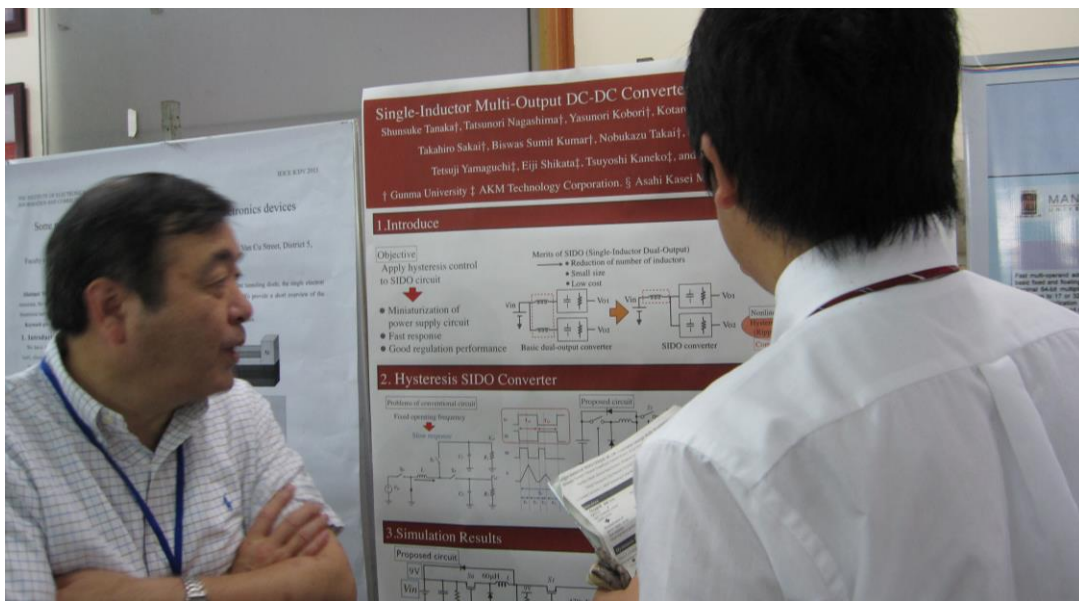
まず、言語について強く感じました。今回ベトナムの大学を訪問させて頂きました。そこには、同じくらいの歳の人がいてコミュニケーションをとってみたいと思いましたが、自分自身の英語に自信が無く積極的にコミュニケーションをとることができませんでした。たまに話しかけられても、よく聞き取れず、もどかしい会話になってしまい、とても悔しさが残りました。学会も英語で発表を行いました。うまく伝えることができなかつたし、アドバイスも頂いたと思うのですが理解できずに終わってしまう場面もあり、せっかく頂いた機会だったので恥ずかしさと悔しさでいっぱいでした。それでも、一生懸命伝えることで文法的にはあっていたかもしれませんが、伝わった時はほっとしたようなうれしいような感じになりました。

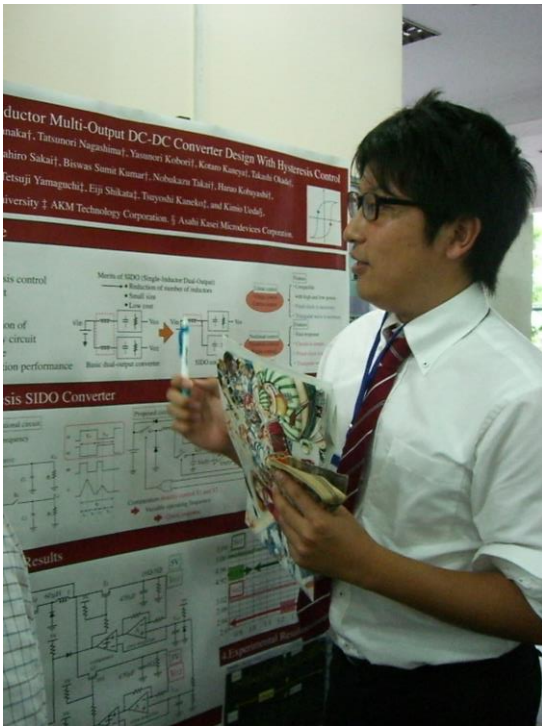


現在はグローバル社会と言われるように英語は必須だとよく言われていますが、なかなか積極的に勉強することはありませんでしたが、会話ができ少し仲良くなれた人もでき、今後英語の勉強を行い、さらにコミュニケーションをとれるようになりたいと思いました。

下記のポスター発表を行いました。

Shunsuke Tanaka, Tatunori Nagasima, Yasunori Kobori, Kotaro Kaneya, Takashi Okada, Takahiro Sakai, Sumit Kumar Biswas, Nobukazu Takai, Haruo Kobayashi, Tetsuji Yamaguchi, Kimio Ueda, Eiji Shikata and Tsuyoshi Kaneko,  
“Single Inductor Multi Output DC-DC Converter Design with Hysteresis Control,”  
The 4th IEICE International Conference on Integrated Circuits Design and Verification, Ho Chi Minh City, Vietnam (Nov. 15-16, 2013).





また、文化の違いについても驚きの連続でした。ベトナムに到着してすぐにバイクの量に驚きました。企業を見学させて頂き企業の方の話で、ベトナム人は企業の様子や、どうしてベトナムに進出したのかという経緯についても話を聞くことができました。現在海外と関係を持たない企業はほとんどないと思うので、文化の違いによる海外における利点、違い、問題点を知ることによって考え方が大きく変わりました。



街中を走る多数のバイク

さらに、人のつながり、仲間の大切さを改めて感じました。日本と大きく違う環境にきて、不安でいっぱいだったり、発表がうまくできなかつたり、弱気になる場面が多々ありましたが仲間に励まされ、助けられたのでベトナムの発表をすることができたし、ベトナムへ行ったことが楽しい思い出にもなり、悔



しい思い出にもなり、今後の研究意欲にもつながる旅行になったと思いました。そして、この経験ができたのは、論文、ポスターと細部までアドバイスをしてくださった小林先生、小堀先生、高井先生、ベトナムでの予定を決めて頂き、過ごし方などをアドバイスし、面倒を見てくださった佐藤さん、石川さんとのつながりがあったからだと思います。本当にありがとうございました。この経験を生かし、さらに研究を頑張りたいと思いました。

